

● アンケート調査・ヒアリング調査について

市自治会・市P連のヒアリング結果より（一部抜粋）

● 市自治会

<役割>

- ・ 地域は学校の応援団の役割、そのためにも学校はしっかり地域と連携を進めてほしい。
- ・ 清水区と葵区・駿河区とで学校の活用方法は異なるが、どちらも防災面では必ず活用している。

<考え方>

- ・ 学校は勉強だけでなく、同学年や他学年の大勢の人と交流することで育まれるものがある。
- ・ 少子化が進むと統合はやむを得ないと思っているが、その場合は、両河内地区の統合のようにスクールバスなどを用意し、子どもたちの通学負担を軽減してほしい。
- ・ 当初の見込みよりも統合後の児童生徒数が大幅に増加した過去の事例から、地域の意見を聞きながら、先を見据えてしっかりと考えて計画してほしい。

<跡地>

- ・ 売却はせずに、地域の居場所づくりやコミュニティの場として残してほしい。
- ・ 地域の現状により検討の必要があるので、廃校活用の場合は必ず地域に相談してほしい。

●アンケート調査・ヒアリング調査について

市自治会連合会・市PTA連絡協議会のヒアリング結果より（一部抜粋）

●市PTA連絡協議会

<状況や考え方>

- ・子どもたちの教育環境を確保する上で、一定の集団規模を維持する「子どもファースト」の考えが一番大切である。
- ・一定の集団規模を維持できない学校は、中学校進学や統合を見据えて大規模な集団に早くなじめるよう、小学校の段階から近隣校同士で授業や課外活動など交流を増やしていく必要がある。
- ・山間地を統合するにあたり、遠距離通学となる子のためにスクールバスの対応が必要である。
- ・地域ごとの歴史背景などで一律に基準を決めることは難しく、地域の実情に合わせた対応が必要。

<学校配置>

- ・中学校を中心とした中学校区配置や、義務教育学校化を見据えて4 - 5年編制の学校配置を今後検討してほしい。

<学区>

- ・通学区域と自治会の区域が異なる学校や、卒業する児童が分かれて複数の中学校へ進学する小学校など、小中一貫教育を進める上でもデメリットを感じているので、そのような学区は整理をしてほしい。

<PTA活動>

- ・普段から近隣校同士の交流しコロナ禍で活動を見直すなど、統合しても大きな問題がなく新しい文化を受け入れやすい状況にある。また、2校が1校に統合された場合、役員選出などにおいてPTAの負担軽減するメリットもある。

<跡地>

- ・地域エリアに応じて、様々な活用方法が考えられる。また、廃校施設は市ではなく民間企業に管理・運営を含めて売却するなど、市民や民間企業にもアイデアを募集したらどうか。